



【特集】

# 9万人都市

# 「登米市」

登米市の魅力・合併までの足跡

「平成の大合併」と言われ、現在全国で数多くの市町村合併が進んでいます。わたしたちの登米地域も4月1日、ばさまちよう迫町、とよま登米町、ま東和町、なかだちよう中田町、よねやまちよう米山町、いしごし石越町、みなみかた南方町、つやま津山町の9町が合併して「登米市」として生まれ変わりました。合併により登米市の人口は、約9万2千人、県内で3番目の人口になりました。面積は536.38平方メートルで県内第4位となります。

9町分の豊かな自然や歴史・文化資産を有した登米市は、より一層魅力的なまちになりました。

今回は、登米市誕生までの経過と、イベントや特産品、自然、歴史をテーマに、登米市が持つ魅力をたっぷりご紹介します。

# 合併までの足跡

平成15年	12月	11月	9月	7月	平成14年
<p>●住民アンケート調査を実施（87.6%に当たる62,651人から回答があり、6割以上の方が「合併論議に関心」、「合併が必要」と回答</p>	<p>●登米郡8町で登米地域合併研究会設置（合計13回の会議を開催）</p>	<p>●住民懇談会を開催（125回の開催で2,450人が参加）</p>	<p>●登米地域合併シンポジウムを開催（約450人が参加）</p>	<p>●住民懇談会を開催（201回の開催で3,621人が参加）</p>	<p>●登米地域合併推進協議会設置（合計4回の会議を開催）</p>

## ぐるっと登米市

